

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	3 月	13 日	記入者	鶴田吉範	
調査者名	饗庭	石井	大谷	垣内	久門	鶴田

文化財名	黒田大塚古墳					
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()	
指定年月日	1983年(昭和58)3月15日					
所在地	磯城郡田原本町黒田348番地					
所有者 管理者	田原本町					
員数	—					
時代区分	古墳時代後期(6世紀初頭)					
樹木の場合	(樹木名) —			(樹齢) —		
案内板の状況	墳丘の南側に案内板(県教育委員会)あり。傷み汚れなし。					
公開	自由					
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input checked="" type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い	
	補足(墳丘周りはきれいに整備されている)					
当面の課題	「県指定文化財一覧」では指定日が昭和58年3月15日となっているが、県教育委員会の案内板には、昭和58年3月20日となっている。田原本町文化財保存課及び県文化財保存課に確認したところ、3月15日が正しいとの回答を得た。記載間違いであり案内板の修正が必要となる。					
今後の課題	墳丘の周りは整備されており、県教育委員会の案内板のほかに田原本町教育委員会の作成した古墳の変遷が記載された案内板もある。また、トイレを併設したベンチのある建物もあり、見学者への配慮も伺われ、今後の課題と思われるものはない。					
その他 (由緒など)	田原本町文化財保存課の説明文によれば、当該古墳は三宅古墳群(20数基)の最南端に位置する古墳で、前方部を西側に向けた前方後円墳で中近世の削平を受けており、本来規模は全長86m、墳丘長70m、幅8m、深さ1mの周濠を有していたと考えられる。墳丘は未調査で埋葬者及び玄室の状況は不明。					
コメント	当該古墳の東側に古代の道路である筋違道(太子道)が通っており、西側に聖徳太子が創建したと伝わる法楽寺がある。当地のテニスコート開発計画を契機に、古墳の周濠の調査が1次(1984年)から6次(2004年)まで実施された。今後、墳丘の調査が行われ埋葬者、玄室など明らかにされることが望まれる。					

